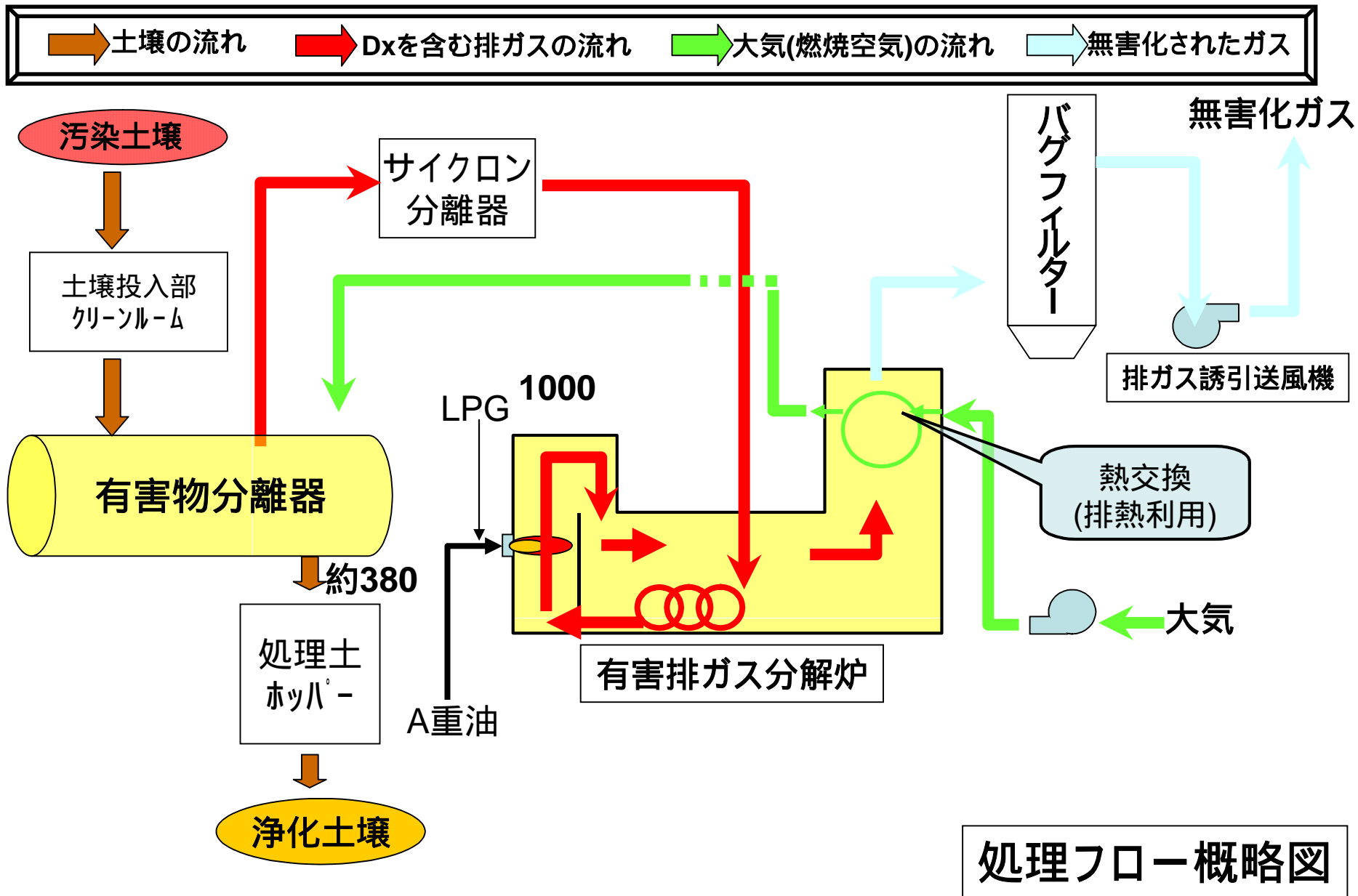


環境省委託：平成19年度低コスト・低負荷型土壤汚染調査対策技術検討調査及びダイオキシン類汚染土壤浄化技術等確立調査における実証調査



< 原理 >

汚染土壌に、高温度空気を接触させ、ダイオキシン類を分離し、有害排ガス分解炉に送り、約1000℃、2秒間以上滞留させ熱分解する。

< 特徴 >

- 処理温度が比較的低く、薬品類を添加しないため、浄化土壌はリサイクルが可能である。
- プラントがシンプルであり、かつ、分解炉からの排熱を利用して有害物を分離するため、熱効率の高い省エネシステムである。
- 設備系統内はすべて負圧に保たれているため、汚染物質の環境への漏出の心配がない。
- 設備建設費、運転経費ともに経済的であり、処理コストが安価である。

平成18年度経済産業省スタートアップ支援事業の補助を得て、株式会社エコアップが開発したダイオキシン類無害化処理装置です

<設置者>

静岡県富士市鈴川本町11-28

株式会社 エコアップ 代表取締役 白谷 良輔

0545-33-4115